

学校だより



北海道千歳高等支援学校
Hokkaido Chitose Support High School

令和8年度 第2号

令和8年7月24日（金）発行

校訓
挑戦創造
協働



1学期を振り返って～「自分の目標」と「成長や変化」 校長 岩佐延寿

第1学期が本日で終了いたしました。

新しい学年が始まり、生徒たちが、緊張と期待の入り混じった表情で登校してきたのが、つい昨日のこのように感じています。

本校の学びの基本は、生徒一人一人が、①「学習したことや体験したことを実生活に生かす」、②「自分の考えや思いを表現する」、③「粘り強く最後まで取り組む」ことができるようになることにあります。

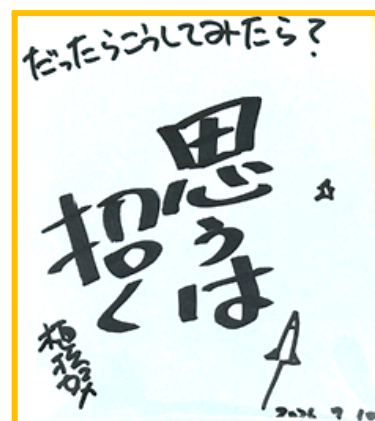
1学期を振り返ると、生徒一人一人が、「自分をより良くするための挑戦」や「将来の生活に向けた創造」、そして「他者との協働」など、本校での学び（日常の学習や学校行事等）や学校生活において「自分の目標」を意識した頑張りをたくさん見せてくれました。

特に「空港開港100年：受注作業」、「陸上記録会（全学年）」、「現場実習（2学年）」、「見学旅行（3学年）」を終えた後の、生徒たちは、「自分の目標を達成した！」という達成感や充実感に満ち溢れた表情を見せてくれました。

また、7月10日に行いました、植松電機代表取締役 植松努氏の講演「思うは招く～夢があれば何でもできる」では、植松氏の経験や考え方を知ることができました。

講演後、植松氏から「サイン」をもらおうと、植松氏の周りに集まる生徒たちをみて、生徒一人一人が、自身の将来に向け「目標と勇気をもって、一步を踏み出そう」と考える貴重な機会になったのではと感じました。

私たち教職員は、本校での学びをとおして、生徒が「自分の目標」を考え行動できた1学期となったこと、そして、生徒自身が成長や変化した1学期となったと実感しております。



保護者等の皆様、日々の御支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様のおかげで、生徒たちは安心して学校生活を送り、充実した毎日を過ごすことができました。感謝いたします。

保護者等の皆様におかれましては、ぜひ、お子様の「自分の目標」を聞いていただいた上で、夏休み中の規則正しい生活や自主学習にもサポート（励ます、ほめるで、挑戦を応援！）いただければと思います。

私たち教職員は、2学期も、生徒たちのさらなる成長を支えてまいります。引き続き、御支援と御協力をよろしくお願いいたします。



北海道千歳高等支援学校
Hokkaido Chitose Support High School





生産技術科の取り組み

学科主任 松 尾 礼 子

生産技術科は木・革・紙を主原料とする製品作りと園芸の作業を中心に、基礎的・基本的な技術を習得し社会生活で役立つ実践的な働く力・働き続ける力を身に付けられるよう、学習を展開しています。特に近年はこれまで培った技術を生かしての受注製品作りや、生徒のアイディアから生まれた新製品が登場するなどの活動が活発で、今年度は『やればできる を やったらできたに』というキャッチフレーズを設定し、生徒の『できた』をより引き出せるような指導を目指しています。

また、今年は千歳市空港開港100年という地域の大きな節目の年でもあります。日々地域に育てていただき共に成長する学校として何ができるか、生徒から意見を募り、特別プロジェクトを設置して取り組んでいるところです。生徒の団結も強まりエキサイティングな年になりそうで、私自身も楽しみにしています。毎年恒例の即売会も例年通り行います。これらの活動が学習意欲向上につながり、彼らの『働き続ける力』になるよう取り組んでいきます。



環境・流通サポート科の取り組み

学科主任 内 山 敦 史

環境・流通サポート科では、「必要な力の習慣化」をキャッチフレーズに様々な作業を行っています。

「清掃作業」では、校内で各道具の使い方や適切なコミュニケーションを学び、校外での清掃を行っています。身に付けた清掃技術を活かして、近隣の地域施設（千歳職業技術専門校、ホテル、町内会館、老人介護施設、幼稚園、教会、小学校など）を各学年で分担して定期的に清掃を行っています。

「製本作業」では、校内外からの受注と製品作りを行っています。年2回行われる即売会の製品作りでは、メモ帳やスケジュール帳、カレンダー作り等を行っています。今年は千歳市空港開港100年の記念品としてオリジナルのメモ帳も作成しました。

「受注作業」では、菓子箱の箱折や窓枠内部品の組み立て、「環境整備作業」では、学校敷地内を中心に除草やグラウンド整備、駐車場のライン引き、除雪等、必要に応じて随時取り組んでいます。

これらの作業学習を通し、『働き続ける力』を身に付けるために、「心構え(挨拶・礼儀・感謝・意欲・責任等)」や「適切なコミュニケーション(確認・連絡・報告等)」の向上等、基礎・基本としての土台作りを大切にに取り組んでいます。



千歳市空港開港100年に向けた記念品制作の様子





陸上記録会について

生徒指導部長 菊地 祐子

5月28日木曜日、青葉陸上競技場で陸上記録会を行いました。例年この時期は、マラソン大会を行っていましたが、青葉公園付近にクマ出没情報が出されることが増えたため、陸上記録会に形を変えての実施となりました。

全員出場の100メートル走では、練習記録をもとにタイムの近い生徒同士が競って走りました。学校のグラウンドとは少し違った感触のトラックに戸惑いながらも、力いっぱい力走する生徒が多かったように感じました。また、選択種目では、ハンドボール投げまたは持久走(1000m、1500m)から選んで出場しました。自分の記録に挑戦するという目標で4月から練習に取り組んできましたが、4月に入学したばかりの1学年、6月に現場実習を控えた2学年、5月の見学旅行から帰ってきたばかりの3学年と、どの学年も厳しい状況の中で、この日を迎えました。ですが、当日はたくさんの笑顔があり、いきいきと体を動かす姿も見られ、それぞれが、今持てる力を自分なりに出し切れたのではないかと感じました。

この日は、天候が心配されましたが、途中少し雨に降られたものの最後まで続けることができました。写真係としてご協力くださったPTA役員の皆様、朝早くから駆けつけて下さり、ありがとうございました。また、平日にもかかわらず、たくさんの保護者の皆様がお越しくださいました。本校の教育活動を温かく見守っていただき、深く感謝しております。



見学旅行について

環境・流通サポート科3年B組担任 長谷部 啓太

令和8年度の見学旅行は、第3学年24名が関西方面（奈良県、京都府、大阪府）に行ってきました。北海道とは違う気候や歴史・文化を肌で感じることができました。

1日目は嵐山、清水寺、鹿苑寺（金閣）を見学しました。2日目は、奈良公園を見学した後、USJでグループごとの活動をしました。3日目はグループごとの自主研修を行い、最終日4日目は海遊館を見学し、北海道へ戻ってきました。

事前の学習ではスケジュールを確認し、見学先は北海道と比較しながら学習をしました。また、自主研修に向けた準備ではグループごとに分かれて話し合い、食事場所や体験先、見学先などを調べ、研修ルートの計画書を完成させることができました。お小遣いも計画的に使い、希望のお土産や買い物ことができました。

北海道にはない歴史建造物や伝統文化、食文化など様々な場面で学ぶことができました。この経験が将来の楽しみや余暇の幅を広げる機会になることと思います。天候にも恵まれ最高の研修旅行となりました。





7月の主な行事

7月10日（金） 千歳市空港開港100周年記念 植松努氏講演会

本校体育館で、植松努氏による講演会が行われました。「思うは招く」～ゆめがあればなんでもできるというお言葉など、多くの心に残るお言葉をいただきました。講演後は、自主的に非常に多くの生徒がサインを求めています。その際、一人一人に温かいお言葉をいただきました。ありがとうございました。



7月17日（金） 全校交流会

同じく本校体育館で、全校交流会が行われました。種目は、バスケットボール、ミニバレー、ボッチャ、最後に学科対抗ドッジボールでした。各学年から本人の希望により、それぞれの種目に参加し、1～3年生が交流するとても良い機会となり、良い思い出となりました。



今後の主な行事



- 8月24日（月） 2学期始業式 ※この日は給食がありません。
- 8月26日（水） 第1回実力テスト
- 9月 4日（金） 定時退勤日
- 9月14日（月） 3学年前提実習～10月9日（金）、2学年生徒面談週間～25日（金）
- 9月18日（金） 定時退勤日
- 9月28日（月） 1学年現場実習～10月2日（金）
- 10月 9日（金） 定時退勤日
- 10月13日（火） 1学年生徒面談週間～23日（金）
- 10月19日（月） 2学年第2回現場実習～30日（金）
- 10月23日（金） 1・3学年保護者懇談・授業参観週間～30日（金）

※給食がない日はお弁当等の準備をお願いします。

9月7日（月）、8日（火）、10月16日（金）

北海道千歳高等支援学校 公式ページ

<https://www.chitosekoushi.hokkaido-c.ed.jp/>
